

オルト住宅の設計図（洋単位&和単位）

1860年代の前半に、ウィリアム J アルト（1840-1908）は、長崎外国人居住地で最も望ましい場所の南山手 14 番に住宅を建てるために、熊本県天草出身の大工である小山英之進（1828-1898）を雇った。小山は、日本の建築技術を西洋人の好みに合わせることができる、信頼できる建築業者として知られた。建設は 1865 年に始まった。

旧アルト住宅の間取り図は小山家に保存された。紙には、紙の製造者の名前と、紙が作成された日付の「C. Ansell、1863」の透かしがある。部屋の名前と寸法は英語で書いてあるが、建設業者は建造を容易にするためにメモと寸法を日本語で追加した。この間取り図は、西洋建築と日本建築の初期の出会いを垣間見ることができる貴重な資料となっている。

採用番号 NO :	023-025
-----------	---------